

Press Release

報道関係各位

2022年5月9日

シュローダー、アクティブ・オーナーシップの道筋を示す 「エンゲージメント・ブループリント」を発表

シュローダー（本社：英国 ロンドン）は、アクティブ・オーナーシップに関する新しい基準と、株式・債券ファンドマネジャーおよびアナリストのエンゲージメント（企業と対話し企業価値向上に資する行動を促す取り組み）における目標を示す、エンゲージメント・ブループリントを発表しました。アクティブ・オーナーシップとは、投資資産の価値を守り更に高めるため、株主として投資先企業の行動に積極的に影響を与えることです。

シュローダーは、英国で投資先企業に対し、エンゲージメント・ブループリントに関する書面を送付しました。今後はグローバルに展開をする計画であり、これにより、お客様のポートフォリオにサステナビリティを統合し、アクティブ・オーナーシップを重視する姿勢をさらに強化していきます。

エンゲージメント・ブループリントでは、エンゲージメントの中核テーマとして、気候変動、コーポレートガバナンス、ダイバーシティ&インクルージョン、人的資本管理、人権、自然資本と生物多様性の6つを設定しています。

シュローダー サステナブル投資グローバル・ヘッド アンディ・ハワードのコメント：

「私たちは今、気候変動、平等、多様性など、多くの重要な分野において転換期を迎えています。これまでの働き方は大きく変化し、企業が成功するには、これまで以上に変化に対応していく必要があります。アクティブ・マネジャーとして、私たちはその移行を支援する重要な役割を担っています。エンゲージメントは、投資先企業に影響を与えるための重要なツールの一つです」。

シュローダーは、ファンドマネジャーとアナリストにエンゲージメントの目標を導入することで、サステナビリティの先駆者としてさらに前進しています。これは、株式・債券部門全体に適用され、ファンドマネジャーやアナリスト個人の業務上の目標の一部となります。

ファンドマネジャーとアナリストは、企業とエンゲージメントを行う際、エンゲージメント・ブループリントに記された6つの中核テーマから選択することができます。このようなエンゲージメント重視の姿勢は、アクティブ・オーナーシップが顧客のための超過収益獲得に役立つというシュローダーの信念を反映しています。

なお、エンゲージメントについては、アクティブ・オーナーシップ・チームとともに投資部門共同責任者兼株式部門責任者であるローリー・バイトマンが主導的な役割を果たしていきます。

シュローダー アクティブ・オーナーシップ ヘッド キンバリー・ルイスのコメント：

「アクティブ運用を行うグローバルな資産運用会社として、私たちは、投資先企業や投資資産に対して建設的かつ献身的に関わることで、企業の行動に影響を与えることができます。アクティブ・オーナーシップは、私たちがお客様にもたらす価値の重要な要素となっています。」

「社会や環境に対する影響力が、社会、経済、産業、金融市場を大きく変えています。こうした変化に対応するよう経営陣を後押しすることで、投資資産の長期的価値を高め、顧客の投資成果を向上させ、より公正かつよりサステナブルな世界経済へ向かう前向きな変化を加速させることができると考えています。」

「エンゲージメント・ブループリントは、シュローダーにおけるアクティブ・オーナーシップの意味、投資先企業との関わり方、そしてお客様にご提供できる価値を示すものです。」

エンゲージメント・ブループリントの全文はこちらをご覧ください。

https://www.schroders.com/ja-JP/sysglobalassets/schroders/sites/japan/pdf/news/20220509_engagement-blueprint.pdf

以上

■シュローダー・グループの ESG の取組み

「質の高いコーポレートガバナンス体制を確立し、本業を通じて、環境や社会の変化および課題解決に対応する企業は、長期的に企業価値の向上と持続的成長が期待できる」という考えのもと、シュローダーは 20 年以上、ESG の要素を取り込んだ運用を実践しています。

ESG の観点を加味した運用を通じて、社会や環境にインパクトを与える真の企業価値向上を促すと同時に、社会や経済全体の利益となり、投資収益の拡大にも繋がることを目指しています。

■シュローダー・グループの概要

シュローダー・グループは、資産運用サービスを通じてよりよい未来への貢献を目指す、英国屈指の独立系資産運用グループです。ロンドン証券取引所に上場しています。1804 年の創業以来 200 年以上にわたり、年金基金から機関投資家、個人投資家まで、世界の投資家に、長期的な視点に立ち幅広い投資ソリューションを提供しています。現在、運用資産総額は約 114 兆円*に上ります。

日本とのかかわりは古く、1870 年（明治 3 年）、日本初の鉄道敷設のために日本政府が初めて発行した国債の主幹事を、シュローダーが務めたことにさかのぼります。1974 年には東京事務所を開設し、日本における事業の本格的な第一歩を踏み出しました。幅広い資産運用サービスを提供する現在も日本株式運用を事業の中核の一つに据え、約 150 年前と同様、日本の未来への投資を通じて歴史を紡いでいます。

※2021 年 12 月末現在。* 7,316 億英ポンド、1 英ポンド = 155.97 円換算。

※本資料におけるシュローダー・グループとは、シュローダー plc を直接もしくは間接的に親会社とする会社などを言います。

本件に関するお問い合わせ先

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社 マーケティング部 大沢／菊地

電話：03-5293-1512／03-5293-1328

シュローダー PR デスク SchrodersJapanMediaRelations@schroders.com

シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 90 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会